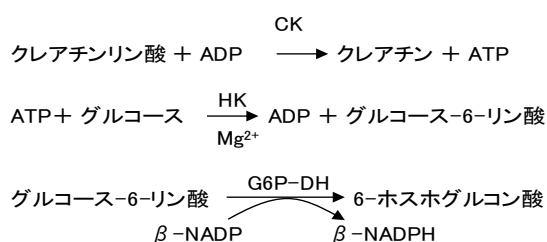


■特 長

- ・免疫阻害法による測定法です。
- ・アスコルビン酸、ビリルビン等の共存物質は通常の濃度では影響ありません。

■測定原理



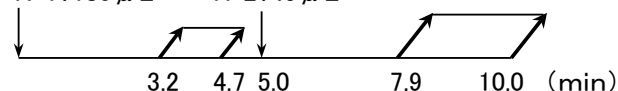
* R-1: 抗CK-M阻害抗体使用

■測定条件(日立-7170の場合)

ダブルカインティックモードの場合

SAMPLE: 10.3 μL

R-1: 180 μL R-2: 45 μL

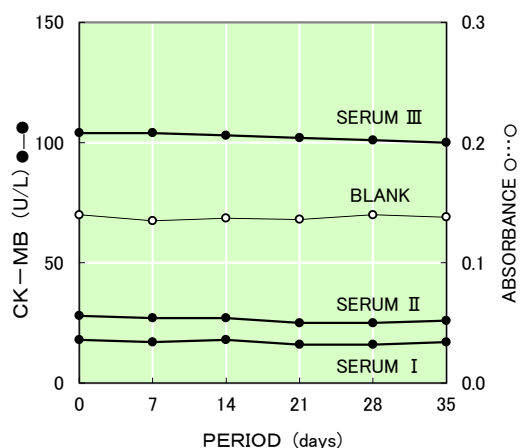


分析法 : RATE A -27-34, 11-16

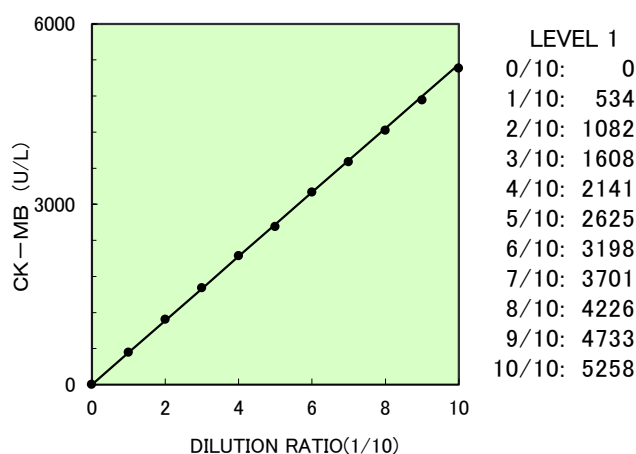
波長(副/主) : 700/340

ABS.LIMIT : 20000-増加

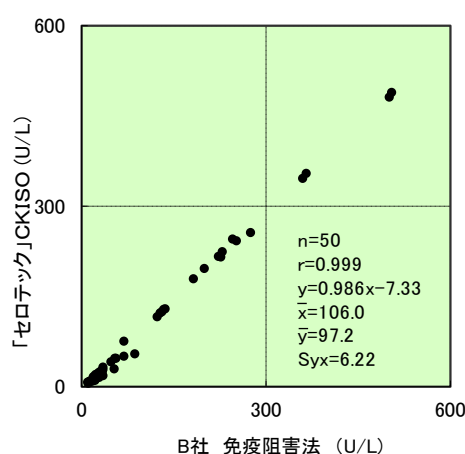
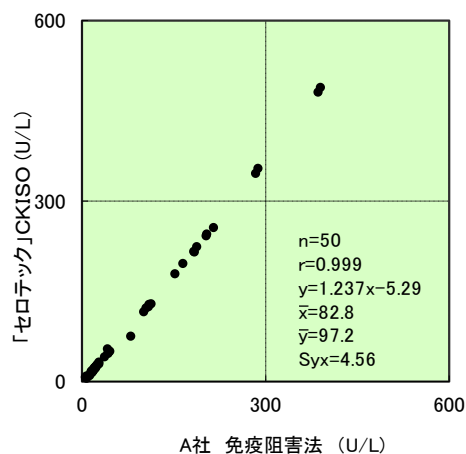
■試薬溶解後の安定性(8~12℃)



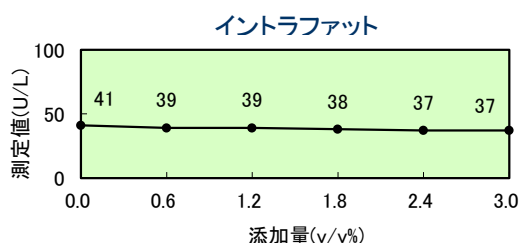
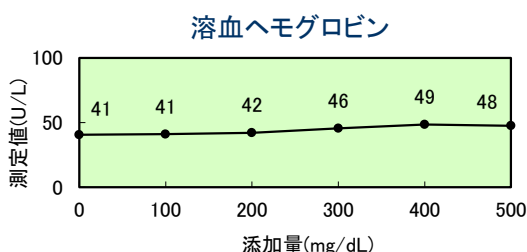
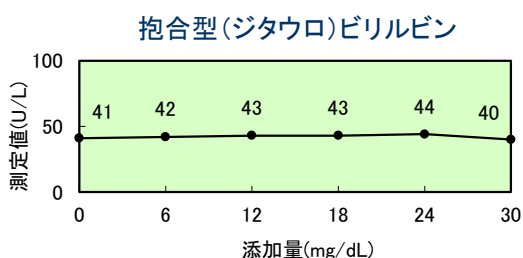
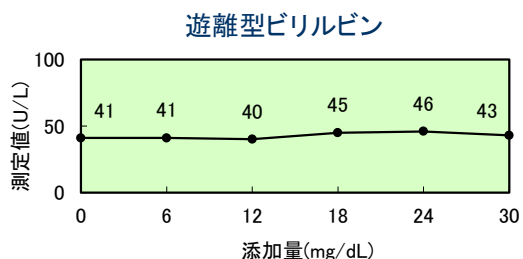
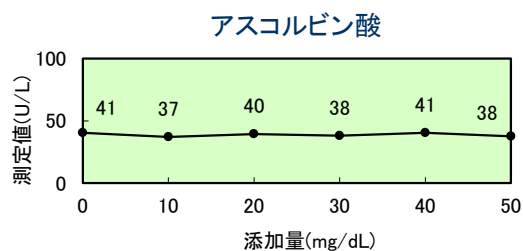
■直線性



■相 関



■血中共存物質の影響



■同時再現性

(単位:U/L)

	SERUM I	SERUM II
N	20	20
MEAN	32.0	141.1
MIN	30	137
MAX	34	144
R	4	7
SD	1.14	1.55
CV(%)	3.56	1.10

■包装

製品コード	製品内容	包装形態
A404-00	抗体試液 20ml用×5 酵素試液 20ml×5 基質試液 15ml×2	20ml用セット
A404-15	抗体試液 60ml用×2 酵素試液 60ml×2	60ml用×2 (R-I)
A404-25	基質試液 30ml×2	30ml×2 (R-II)
A404-10	抗体試液 80ml用×2 酵素試液 80ml×2	80ml用×2 (R-I)
A404-20	基質試液 40ml×2	40ml×2 (R-II)

■参考基準範囲

血清 CK-MB活性:25U/L以下
(金井 他, 臨床検査法提要, 32版, 金原出版,
p607. 2005.)

■貯法及び有効期間

2~10℃保存 製造後1ヵ年(抗体試薬は2ヵ年)
(開封後R-I;1ヵ月、R-II;2ヵ月)
※使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



株式会社 セロテック

お問い合わせ先(企画開発室)

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7

TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143

E-mail:kikaku@serotec.co.jp